

傘寿談議

還暦・古希・喜寿そして

徳島剣山世界農業遺産支援協議会 会長

永井 英彰

八倉比賣神社に二、三の鳥居 創作神楽の表さんと丸二日同行

七月二十八日、山伏の講を持つ創作神楽の第一人者表博耀さん（大阪在住）一行と徳島市国府町の市立考古資料館で待ち合わせた。

一行は古事記研究家の三村隆範さんから展示物の説明を受けた後、近所に住む坂東明文さんから屋外に出て矢野の古墳を見学した。この古墳は気延山東端の標高二十四メートル地点に造られた直径十七・五メートルの円墳で、高さ二・八メートルの横穴式石室を持つ。石材は阿波の結晶片岩つまり青石が使われている。

坂東さんは八倉比賣神社へ



八倉比賣神社登り口



早瀬にある一の鳥居



八倉比賣神社本殿



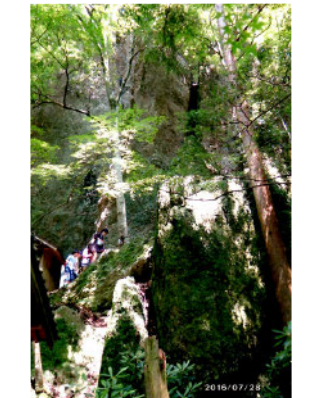
五角型の石積古墳



元気な皆さんは山頂へ



立岩神社(神山町)



天の岩戸

行く前に見せたい所があると

言つて、国府町早瀬にある「一の鳥居」へ案内してくれた。昔はすぐ横まで川があり、船でこへ上陸していたという。鳥居の東方は伊勢神宮、西方は

気延山である。今となつては変な位置であるが、その昔、鳥居を移動しかけたら不幸が発生して、元の位置へ残したという言い伝えが残っている。次に二の鳥居があつたという往還脇に「天石戸別八倉比賣神社」の石柱を見て、三の鳥居である気延山へ到着した。

気延山へは何度か来ているが、二の鳥居、三の鳥居がある

とは知らなかった。

正一位の式内大社

八倉比賣神社の祭神は大日靈女命（別名日神子・天照大神）。正二位で、延喜式に記録された式内神名大社である。神紋は「抱き柏」で、神社の本殿や鳥居は杉でなく犬

櫛で造られている。犬櫛の木は燃やすと真綿のように真っ白い灰になる（香川宜子医師の資料）。賀川先生の資料では十二代景行天皇は気延山に居城、下の国道沿いには息子倭健命の神領と社の白鳥神社がある。

神社の右側を少し上ると青石による五角形の石積がある。周辺には古墳の欠片が散らばっており、筆者は鈍感だが何がしかのオーラが出てい

風土記には「伊与の郷。群家より東北のかたに天山あり。天山と名づくるゆえは、倭に天加具山あり。天より天降りし時、二つに分かれて、片端は倭の国に天降り、片端はこの土に天降りき。よりて天山といふもとなり。」とある。

神山の天岩戸は圧巻
昼飯はコンビニの握り飯で済ませ、名西郡神山町鬼籠野字本山の天岩戸立岩神社を拝観した。雑木が茂り見難くなっているが、見上げる天岩戸が絶景である。

徳島市国府町に大御和神社がある。別名を「こうのみや神社」と言い、またの名を「印鑰神社」と言う。都が奈良へ移るまで、ここに厩戸の王子（聖徳太子）の居城の門があつたので、「閤宮と呼ばれていたのが何時の間にか漢字だけが變つて呼び名が残った。

国府の大御和神社

阿波風土記には「空よりふり下りたる山の大きななるは阿波国にふり下りたるを、天の本山といひその山のくだけて、大和国にふりつきたるを天香久山というとなんともうす」とある。また伊予の国

徳島市国府町に大御和神社がある。別名を「こうのみや神社」と言い、またの名を「印鑰神社」と言う。都が奈良へ移るまで、ここに厩戸の王子（聖徳太子）の居城の門があつたので、「閤宮と呼ばれていたのが何時の間にか漢字だけが變つて呼び名が残った。

「四十二代文武天皇の大宝二（702）年、閏宮より奈良の平城京へ国印と国庫の鍵を献上したので印鑰大明神と号す」と神社正面の案内板に記されている。という事はそれまでの間、国印と国庫がここにあったという証拠でもある。なんと神紋は鍵のクロスである。

本番の打ち合せ

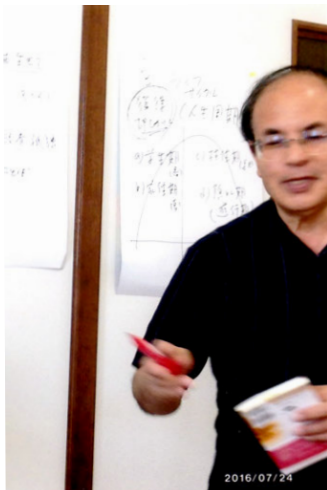
表博耀さんは観光庁のエンタメ観光マイスター第二号に就任、世界各国へ訪日旅行のPRをしている。総務省関係では日本文化伝統産業近代化促進協議会（J-IART）会長として、大阪城活性化事業の企画プロデュースやイタリア・フイレントエのピッツェイ宮殿に於ける「ネオジャパネスク展」開催など幅広く実績を残している。最近では地域の民話神話を活かした神楽創作による地域資源のプラ



大御和神社



鍵のクロス神紋



講演する工藤信夫先生



おいしいバラ寿司、トロ

面がある。これこそが老いのあるべき姿で「生命の移し替え」にも通ずる後継者づくりでないかという。昼食は恒例の美味しいバラ寿司の他、境港から直送の大トロ、中トロが振る舞われた。

ンディングにより、地域の観光客増加に貢献している。

今回、表さんが剣山や国内最古の石積墳丘墓である鳴門の萩原2号墓など徳島の古い歴史に目をつけ私達と会う機会を作ってくれた。

徳島にも天岩戸神楽などいくつもの古い神楽があるので、それらを合同で神楽祭をや、合わせて物品販売につなげ、来日観光客にも見せることができないうかという趣旨である。幸い、吉野川市鴨島町に太鼓の楽校理事長・中西涉さんがいる。彼は神楽を修行しており、四月にはワシントン桜まつりに同行、大舞台で吉野美苑さんの大書とコラボで神楽を披露したのを見ている。

声を掛けてくれた皆さんと一般社団法人設立の準備をしており、年内には旗揚げする予定である。手始めは伝統的神楽、次いで創作神

楽の披露からスタートするが、剣山系のカヤを使った農法や食文化、鉦踊りなどの伝統文化も紹介し、観光客増加に繋げられるのではと考えている。

些細な事です

① 八月十日、野田靖之先生が私宅へ来られた。先生が北海道へ孫たちに会いに行つて帰つたばかりの妻・幸子「良い避暑になりましたか」と尋ねたのに「汗疹がいつぱいできました」と言う。原因は北海道の各家庭にクーラーが無く、湿度が高いからだとの事だった。そう言えば二十年前によくオランダを訪問していた頃、向こうの車にクーラーは無かった。今はどうなのだろうか。

② 筆者は狭庭のバラ鉢にカヤを十センチ程に切つたものを暑さ対策に入れている。先日、カヤの切れ端から新芽が

出ているのに気付いた。その事を先生に話したら、放棄地対策にカヤやヨシの栽培方法を聞かれていたのだが、参考になる、との事だった。

③ 八月五日、徳島市籠屋町郵便局前の居酒屋 可夢庵で日本酒十二種を飲む会に誘われた。徳島産山田錦が原料の三種や埼玉県加須市の「力士」醸造元・釜屋の社長杜氏が持参した清酒やワイン酵母仕込みの度数の低い純米酒を堪能した。

④ 十月二十九日、徳島県立福祉センターで「健康マージャン交流大会」が、県とくしま「あい」ランド推進協議会の主催で開催される。六十歳以上で四十人限定、弁当付きの参加費は千円。申込期間は十月二十四日、申込先は徳島市富田浜二丁目五二二二 草庵ビル二階 県健康マージャン推進実行委員会 内村宛 電話088162

412853である。腕に覚えのある往年の雀士はぜひ参加を。

後継者を育てるとは

七月二十四日、松茂町中喜来・徳島恵キリスト教会の礼拝に、南沢満雄牧師や信者の方から誘われて出席した。秋田県生まれで淀川キリスト教病院精神科医長、平安女学院大教授などを歴任された工藤信夫医学博士（70）が「老いの意味ー使徒パウロの老いに学ぶー」について講演された。

晩年のパウロが獄中でたまたま出会った奴隷ネオシモに対して注いだ情熱の話である。講演直前に聖書の「ピレモンへの手紙」で、パウロはこの奴隷の事を「捕らわれの身で生んだ私の子ネシモ」と表現して、この若者が許しを請うべきその主人ピレモンに、彼の身の安全を懇願する場面がある。これこそが